



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題 「ワンチーム」

国際会長主題 「世界とともにワイズメン」 キム サンチェ (韓国)
 アジア太平洋地域会長主題 「100年を超えて変革しよう」 大野 勉 (神戸ポート)
 西日本区理事主題 「未来への挑戦」 新山 兼司 (京都トップス)
 中部部長主題 「楽しくやろう ワイズの活動 地域とYMCAと共に」 渡辺 真悟 (名古屋)
 名古屋東海クラブ標語 『限りなき熱情を奉仕に』

今月の聖句

あなたがたは地上に富を積んではならない。そこでは、虫が食ったり、さび付いたりするし、また、盗人が忍び込んで盗み出したりする。富は、天に積みなさい。そこでは、虫が食うことも、さび付くこともなく、また、盗人が忍び込むことも盗み出すこともない。あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ。
 (マタイによる福音書6章19節～21節)

強調月間 Extension Membership & Conservation Y's Extension Support

9月例会等ご案内

◎9月第1例会

日程：9月9日(木) 18:45～

緊急事態宣言発令の為、中止と致します。

◎9月第2例会

日程：9月16日(木) **18:45～20:00**

会場：名古屋YMCA

開会宣言・点鐘：山田英次会長

卓話：『終活あれこれ』

講師：大島孝三郎君

協議・諸報告：

閉会宣言・点鐘：山田英次会長

◎2021-2022 **中部部会は中止と**
なりました。

◎第2例会は緊急事態宣言が解除されることを前提にしています。宣言が継続された場合には中止の可能性もあります。会長からのメールにご注意下さい。

東海ワイズ五つの信条

- 一、自分を愛するように隣人を愛そう
- 二、青少年のためにYMCAにつくそう
- 三、世界的視野を持って国際親善を図ろう
- 四、義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五、会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 8月末一在籍者 20名
 (内広義会員 2名)

出席者 16名 (Make up 7名)
 出席率 88.9%

【特別ファンド】

8月ファンド 0円
 合計 1,452,634円

8月第1例会報告**『納涼例会の報告』**

浅野猛雄

会場：海女の酌（あまのじゃく）

日時：2021年8月5日（木） 18：45～20：45

今年の納涼例会の担当をし、店も予約して有ったがコロナの緊急事態宣言が出て急遽取りやめとなり、又、クリスマス祝会も中止となり、クラブのメンバーが集まって飲むのは、昨年7月のクラブ総会後の丸八寿司（八事）以来で有った。



今年もリベンジと納涼例会の担当になったが、コロナ過の中会場は屋外が良いとの要望が有り、色々な店を探したが値段、料理、飲物の都合など、なかなか条件に合わなかった。又、吹上に有るピアガーデンでは1グループ4名までの人数制限が有ったりで、最終的には錦に有る3階建てのビルの屋上に有る「海女の酌」を予約しました。



しかしながら相変わらずコロナの猛威は止らず、緊急事態宣言も蔓延防止も出ていなかったが思った程人が集まらず、急遽山田会長が2名のゲスト（山本さん、榊井さん）を、山村君が当日1名のゲスト（高津さん）を確保し、又、昨年退会された遠藤さんにも声を掛け総勢13名の飲み会となった。山田会長から「英気を養って暑い夏を乗り切りましょう」と挨拶と乾杯の発声で宴が始まりました。ゲストの3名とも打ち解け和気あいあいと会は制限時間まで続きました。

当日の料理は岩かきポン酢、刺身3種盛、夏サラダ、ハモの冷製茶碗蒸し、鮎の塩焼き、天ぷら盛り合わせ、てこね寿司太巻き、デザート等で有った。



【出席者】浅野、池野、大島、太田、中江、橋爪、松本、山田、山村
（ゲスト）遠藤、高津、山本、榊井

8月第2例会報告

会場：名古屋YMCA

日時：2021年8月19日（木）19：00～20：00

1. 9月例会の件

第1例会担当は大島君、卓話担当も大島君
テーマは「終活あれこれ」。緊急事態宣言が発令される可能性が高いので、その場合は第1例会を中止し、大島君の卓話は、第2例会にお願いすることとした。

2. 中部部会の件

コロナへの対応は中部部長の判断に従うことを確認した。

3. 十勝ジャガイモの件

昨年より取り組みをやめているので、今年度も同様とすることを確認した。

4. クラブのメール委員の件

太田前会長のところに配信され続けているので、松本君と交代する手続きを太田君に依頼した。

久々に神谷君が出席可能となり、みんなで大いに喜んだ第2例会でした。

【出席者】浅野、大島、太田、神谷、木村、

柴田、谷口、中江、橋爪、長谷川、松本、八木、山田、山村、鷺尾

(松本)

思いのままに

池野輝昭

卒寿を目前にブリテンの寄稿依頼が舞い込み、この暑い中、老体に鞭打ち筆を執りました。

先ず頭に浮かんだのは、私のY's人生も、気が付けばもう50年有余年経ってしまいました。時の流れの何と速いことか、無常迅速とはよく言ったものです。それにしても、よくぞ続いたものと感慨にふける今日此の頃です。これも偏に、関係各位の深いご理解と温かきご支援の賜物と改めて深謝いたしております。

思い起こせば、その間楽しかったことあり、苦しかったこともあり、本当にいろんな体験をさせて戴きました。そんな中でも、第40回日本区大会(伊東)、日本区大会としては最後となった第50回日本区大会(名古屋)が強く印象に残っています。特に名古屋の大会では、設立間もないクラブの若いメンバー諸君が熱意に燃え大会ホストへの名乗りを上げたまでは良かったのですが、如何せん現実が伴わず、孤軍奮闘の嫌い著しく大変な苦勞をしたことを覚えています。事程左様

に、何事も中庸を旨とすべしということを嫌というほど知らされました。

今一つ忘れてならないことは、昔から物事引き際が肝心だと言われてきました。徒然草にある「日暮れ途遠し。わが生すでに蹉跎たり。所縁を放下すべき時なり。」という一文がつとに頭を過る今日、私のY's人生もそろそろ引き時かと考えています。勿論、気力、体力が続く限りはメンバーとしての務めを果たしてまいります。然しながら、これは誰しも避けては通ることのできない道理です。



所で、ここで私共クラブの現状に目を向けた時、それなりに活動はしているものの、やはり高齢化が気掛かりです。近い将来、新陳代謝を図る意味からも、必ずや若き血との融合が求められる時機がやってきます。以前にもお話しましたが、歳とった細胞は若い細胞と融合することにより、活性化し全体が若返ってきます。その反対は残念ながら真逆の結果を招くのです。今こそ、EMC(特にM=会員増強が重要)にクラブとして正面から取り組んでいくことが肝要かと思われま。看過していれば、いずれ消滅していったクラブと同じ道を辿ることになりかねません。杞憂であれば何よりですが、明日は我がクラブという危機感を共有して戴くことも大切なのではないのでしょうか……。ご一考願えれば幸いです。

『散る桜 残る桜も 散る桜』

2021 名古屋 YMCA 市内中学生 バスケットボールフェスティバル

八木武志

コロナウィルス禍で中止となった昨年の「市内中学生バスケットボール大会」、今年も開催が危ぶまれていたが、3年生は2年間公式試合の経験もなく卒業することにもなると心配する先生方がなんとかYMCAの大会を開催したいとの熱意により、フェスティバル（男子YMCAマッチ・女子ロータリーマッチ）という形で各校1試合交流戦を行うことになった。



7月26日（月）守山スポーツセンター、枇杷島スポーツセンター、露橋スポーツセンターの3会場で始まり、守山SCにおいて中村隆名古屋YMCA総主事の開会宣言があり、この日は21の試合が組まれた。この後、7月27日（火）は守山SC、露橋SC、枇杷島SC、千種SC、7月30日（金）は緑SC、瑞穂SC、パロマ瑞穂SC、7月31日（土）は緑SC、枇杷島SC、8月3日（火）は緑SC、8月5日（木）は守山SCで開催された。参加校は男子96、女子84の180校。



交流戦の形で原則エントリーは3年生とし、ウィルス感染予防のため1・2年生、保護者の観戦も禁止されたので観覧席もがらんとしてちょっと寂しい大会ではあったが、スタッフ、先生方の努力で開催出来た。選手、指導者とも感染予防のため体調管理、マスク着用、手指の消毒をする。このために名古屋東海ワイズメンズクラブは各会場に置く手指消毒薬の購入補助のため5万円を献金した。来年は第64回のトーナメントの大会を開催できるよう祈っている。



中学最後の戦いの後、3年生だけで記念撮影。こんな光景は今年だけ可能シーンでした。

これからの担当者は以下の通りです。
皆様の協力をお願いします。

【例会担当】

10月：木村	3月：長谷川
11月：柴田	4月：橋爪
12月（クリスマス例会）： 山村・中江・神谷	
1月：鈴木孝	5月：太田
2月：鷲尾・谷口	6月：真鍋

【ブリテン寄稿】

10月号：大島	3月号：橋爪
11月号：柴田	4月号：長谷川
12月号：木村	5月号：真鍋
1月号：谷口	6月号：山村
2月号：中江	